



三河産大豆と奥三河の天然水“神水”で仕込んだ こだわりの「八丁味噌」ついに発売

～(株)まるや八丁味噌～



ギフト用桐箱入り
400g × 3ヶ入り 3,150円
400g × 2ヶ入り 2,100円



代表取締役社長 浅井信太郎 氏

以前から国産大豆での味噌づくりを思い描いてきた浅井社長を中心に2006年に構想がスタートし、知り合いの三河の大豆生産者に依頼し大豆を納入できるようになったことからプロジェクトが具現化。その後、柴田酒造場の柴田社長との出会いで「孝の司」等の地酒づくりに使われている神水を使えることとなり、2007年6月に初仕込みが行われ、今回の発売となりました。「三河の気候風土に育まれ、現在も2件の蔵がその製法と伝統の味を守り続けている八丁味噌。育ててくれた地域への感謝と八丁味噌の伝統を次の世代へ伝えるため、地元素材を使った味噌づくりに取り組みました。八丁味噌を、岡崎を全国そして世界へ向けて発信する旗印にしていきたい。その実現に向け、これからも商品とともにメッセージを岡崎から発信していきたいと思っています。」

岡崎市八帖町往還52 ☎ (0564) 22-0222 <http://www.8miso.co.jp/>

株まるや八丁味噌では、三河の素材にこだわった八丁味噌「三河産大豆と神水仕込みの八丁味噌」が2夏2冬を経てついに完成し、年間1桶限定で10月から販売となりました。

“人と人の出会いから始まった”というこの三河プロジェクト。

八丁味噌であれば…との思いで神水を提供

神水は酒づくりの生命線であり、娘のような存在。初めてお話をいただいた時は正直戸惑いを隠せませんでしたが、浅井社長の味噌づくりに対する熱い思いをお聞きする中で「同じ岡崎でつくり続けられている八丁味噌に役立ってくれるなら」と、嫁に出すような気持ちで送りだしました。今実際に商品となって本当に嬉しく思っています。地元の素材と年月が育てたこの商品が、全国に向け大きく発信されることを願っています。



柴田酒造場
代表社員 柴田秀和 氏

岡崎市保久町神水39 ☎ (0564) 84-2007 <http://www.kounotsukasa.co.jp/>

新分野開拓へ、航空機部品を開発

～(株)ハマダ工商～

岡崎市天白町清水2-1 ☎ (0564) 54-0552 <http://www.hamakou.co.jp/pc/>

「社員が夢を持ち、意欲を持って、楽しく仕事に取り組んでもらいたい。」樹脂成形や各種金型製作の(株)ハマダ工商は、「ものづくりはひとつづくりから」をモットーに、社員皆が新しいアイデアを製品づくりに活かそうと日々取り組んでいる。世の中になく製品の開発、また、シェアの少ない産業への参入を目指し、特許、実用新案も多数取得している。最近では、自社開発製品として、雨、気温、風圧、振動センサー付の全自動窓開閉装置「オートクローザー」を開発。さらに、従来よりも極め細かい加工技術を活用し、新たに航空機の駆動部品、プレーキ部品などの機能部品や内装樹脂製品の生産に取組む。

「考える力を持った人を育てることが一人前の人を育て、会社を育てると考えます。これまでと同じ製品をつくるだけでなく、社員の探究心や感性が加わったものづくりが大切であり、そのために、新たなテーマ・課題を与え続けています。」年内には、航空宇宙産業品質マネジメントシステム「JIS Q 9100」を取得予定。同社のチャレンジがさらに加速します。



株ハマダ工商
代表取締役 浜崎幸男 氏

“岡崎＝綿フィス化計画” 進行中! ジャズの日に糸紡ぎ体験を開催

～(有)ファナビス～

岡崎市小呂町三乃己田36-11 ☎ (0564) 23-7078 <http://www.fanabis.net/>

綿があればぜひお持ちください。多くのご参加お待ちしております!

“三河木綿の発祥の地である岡崎に、もう一度綿畑を”
ガラ紡布を柿渋で染めた「本気布 (マジギレ)」の企画・製造・販売を手がける(有)ファナビスの稲垣氏は、岡崎での木綿産業の復活を目指し、「綿フィス化計画」を進行中です。綿と、綿花の一大産地であるテネシー州メンフィスから名づけられた同企画。かつてのように綿花いっぱい岡崎を取り戻そうと、4年前から綿の栽培をスタート。5月、その種子をメッセージとともに綿の栽培に協力いただける方1300人に配布したところ、康生・筆田の商店街をはじめ実際に育てていただいた方から“綿がはじけた”との報告が多数あり、その活動の広がりを感じているとのこと。ジャズにゆかりの深い点でもメンフィスと岡崎には共通点があり、昨年から岡崎ジャズストリートの日程にあわせ、糸紡ぎ体験を開催。会場は、日頃、同社商品の販売もし、筆田公園でのイベント開催などまちに熱い思いをもつブティック中屋の天野さんの店前。今年もダンボールと割り箸

で手づくりの紡錘車をつくり、実際に綿から糸を紡ぐ体験会を開催するとのこと。プロジェクトの一環として、実際に綿に触れていただくきっかけになれば企画しました。岡崎で皆さんの手により綿花生産が広がれば、木綿産業の復活は夢ではないと思っています。実現に向けて一歩一歩前へ進んでいきますので、ぜひプロジェクトへのご協力をお願いいたします。」(稲垣氏)



(有)ファナビス ブティック中屋
稲垣光威 氏 天野めぐみ 氏

糸紡ぎ体験
日時: 11月7日(土) 午前11時～正午 午後2時～3時
11月8日(日) 午前11時～正午 午後3時～4時
会場: ブティック中屋前 (岡崎市筆田町)